

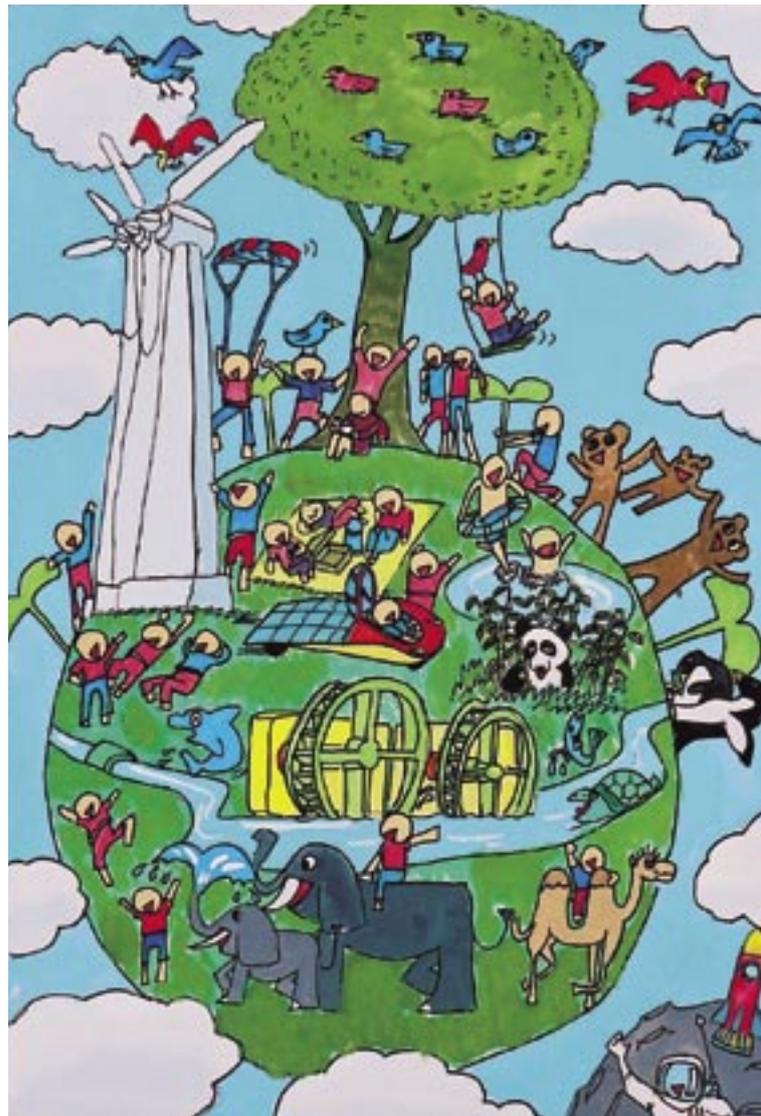


Japan Environment Association

JEA NEWS

財団法人 日本環境協会

ニュースレター No.32 2004年7月1日発行



「平成16年版環境白書表紙絵コンクール」

小・中学生の部 優秀賞 ((財)日本環境協会理事長賞)

浦野 志郎 (うらのしろう) さん (現・富山県福野町立福野小学校6年) の作品

JEA NEWS No.32 目次

エコマーク情報	2	環境カウンセラー	6
世界エコラベリングネットワーク (GEN)	3	地球環境パートナーシッププラザ	6
スターウォッチング・ネットワーク	4	グリーン購入ネットワーク (GPN)	6
環境白書表紙絵コンクール	4	藤本倫子環境保全活動助成基金	7
環境研究会	4	全国地球温暖化防止活動推進センター (JCCCA)	7
こどもエコクラブ	5	土壌汚染対策基金	7
こども環境相談室	5	ホームページをリニューアルしました!	8

各事業のホームページは、協会トップページ <http://www.jeas.or.jp> から入ることができます。



エコマーク情報

エコマーク認定商品(情報用紙、衛生用紙、塗料)の市場シェア

このたび情報用紙、衛生用紙、塗料の3品目について、エコマーク認定商品が市場でどのくらいのマーケットシェアを占めて販売されているか調査を行いましたので、結果の概要を紹介します。(すべて2003年度メーカー出荷ベース) なお、本調査結果の報告書は、エコマーク事務局のホームページで公開しています。

<情報用紙>

	シェア (数量ベース)	対前年伸長率
PPC用紙	16.5%	108.2%
インクジェット用紙	4.0%	149.8%
フォーム用紙	3.8%	96.1%
ジアゾ感光紙	67.6%	141.9%
OCR用紙	0.9%	100.0%

- 前年比ではインクジェット用紙、ジアゾ感光紙が140%を超える高い伸長率を示しています。
- ◇同時に行った販売比率調査では、インクジェット用紙を除く4品目で、エコマーク認定商品の自治体・法人向け販売比率は95%を超えています。

<衛生用紙>

	シェア (数量ベース)	対前年伸長率
トイレットペーパー	41.5%	98.6%
ティッシュペーパー	1.4%	60.6%
ちり紙	24.9%	97.8%

- トイレットペーパーのシェアは41.5%と前年並みです。ティッシュペーパーの伸長率は60.6%と前年にくらべ減少しました。
- ◇販売比率調査では、全ての品目でエコマーク認定商品の小売店向け販売比率が高い(84.6~99.2%)ことがわかりました。

<塗料 (合成樹脂水系塗料) >

	シェア (数量ベース)	対前年伸長率
合成樹脂水系塗料	9.6%	61.9%

- 対前年伸長率では縮小傾向が見られましたが、エコマーク認定商品の法人向け販売比率は86.5%と高い割合であることがわかりました。

- ◇**エコマーク認定商品数の推移** 2004年3月末現在、商品類型数は54、認定商品数は5,646商品となりました。
- ◇**新しい認定基準** 「木材などを使用したボードVersion2.0」、「紙製の包装用材Version2.0」、「間伐材、再・未利用木材などを使用した製品Version2.0」、「家具Version1.0」、「日用品Version1.0」、「廃食用油再生せっけんVersion1.0」(すべて2004年7月1日)が、新たに制定されました。

エコマーク普及活動

エコマーク対話集会を開催しました

3月に東京と大阪で、「消費者の視点からグリーン商品の普及を考えるー商品流通段階でできること」をテーマにした対話集会を開催しました。流通業界関係者や一般消費者など、両会場あわせて350名以上の参加があり、グリーン商品の現状や今後の普及のあり方について、パネラー間のディスカッションにとどまらず、会場との活発な意見交換が行われました。なお、対話集会の詳細は、パネルディスカッションもふくめ、冊子としてまとめるとともに、ホームページにも掲載する予定です。

◆ 大阪会場 ◆

3月19日…クレオ大阪西ホール
【基調講演】同志社大学教授 郡嶋 孝氏
「賢い消費者が良い企業を育てるーグリーン購入とエコマーク」
【パネラー】有田芳子氏(全国消費者団体連絡会)、飯島正裕氏(イズミヤ(株))、砂川明美氏((社)全国消費生活相談員協会)、林 民子氏(大阪市消費生活合理化協会)、安川良介氏(株)電通
【コーディネーター】埼玉大学非常勤講師 原早苗氏

◆ 東京会場 ◆

3月26日…星陵会館ホール
【基調講演】早稲田大学教授 寄本勝美氏
「リサイクル社会の建設とエコマークの役割」
【パネラー】有田芳子氏、砂川明美氏、上山静一氏(イオン(株))、中沢寿子氏(生活協同組合コープとうきょう)、西垣内義則氏(NPO法人グリーンコンシューマー東京ネット)
【コーディネーター】埼玉大学非常勤講師 原早苗氏

三越(池袋店)で“エコマークトークショー”を開催



5月4日(火)、(株)三越の協力を得て、三越池袋店内の特設会場で、俳優の柳生 博氏を迎え、“エコマークトークショー”を開催しました。

八ヶ岳山麓にアトリエを構える柳生氏は、『森と暮らす、森に学ぶ』をテーマにした話の中で、「環境問題との関わりを持つのに、一番てっとりばやいのは、エコマーク商品を買うこと」と語り、日常生活における環境に配慮した行動の大切さを訴えました。

また、同日から10日(月)まで、エコマーク認定商品の展示コーナーも開設されました。このような取組を通じて、商品流通段階におけるエコマーク商品の市場が拡大していくことが期待されます。

エコライフフェア・2004

6月5日(土)、6日(日)の2日間、都立代々木公園園路で、環境省主催の「エコライフフェア・2004」が開催され、エコマーク事務局もブース出展しました。環境に配慮した買い物の大切さや、エコマーク商品のどこが環境にやさしいかなどを、「エコマーク商品の部屋」の展示やエコマークビンゴゲーム等を通じてPRしました。小池環境大臣も会場のトークショーでエコマークや環境にやさしい買い物の必要性等についても話されました。



新作パンフレット

* こども向けワークブック「エコマークをみつけてみよう！」第4巻

今回は、「ペットボトル」とそのリサイクルについて取り上げました。イラストやクイズを中心に楽しみながら環境のことが学べます。

* エコマーク紹介リーフレット「発見! あなたの身近にエコマーク」シリーズにNo.11、No.12ができます

No.11は家庭や職場でも身近な「消火器」、No.12は潤滑油が環境中に漏出した場合の負荷に着目した「生分解性潤滑油」です。

これらを入手希望の方はエコマーク事務局までお問い合わせください。



世界エコラベリング ネットワーク(GEN)

役員会報告

5月10日(月)～12日(水)、ドイツのベルリンでGEN役員会が開催され、当協会は役員・総務事務所として出席しました。今回の主な議題は、GENとして共通の認定基準を策定することをはじめとした、「国際協調エコラベルシステム」の検討などでした。

年次総会の日本での開催

年次総会を10月5日(火)～9日(土)、東京で開催します。GENの年度計画など、重要な事項を話し合う予定です。今回は、エコラベル制度を立ち上げる団体などを主にアジア各国から招聘し、セミナーも行います。

また10月6日(水)、7日(木)の2日間、仙台で開催される第1回グリーン購入世界会議 in 仙台において、特別セッションをグリーン購入ネットワークと共催します。

<http://www.ics-inc.co.jp/icgps/>

年次報告書2003年版の完成

年次報告書(英語版)ができました。ご希望の方はエコマーク事務局内GEN担当までお問い合わせください。



世界のエコラベル

～GEN 会員機関紹介～No. 5

環境チョイス・ニュージーランド

今回は役員として長く携わり、GENの広報活動や「国際協調エコラベルシステム」作りなどに活躍しているニュージーランドの団体の運営するラベル制度です。

国の制度として、1990年に開始されました。運営主体は、環境認証ニュージーランド(非営利団体)です。

現在、商品類型数は21で、認定商品数は172。環境認証ニュージーランドではスタッフは少ないながら、流通業界やメーカーなどへのアプローチを積極的に行い、ラベルの普及に努めています。

絵柄は、真ん中に地球、下方の✓は、「物を買うときには、✓チェックして(吟味して)、チョイス(選択)する」という意味を表しています。

ニュージーランドにはオフィス機器など日本からの製品が多く、認定基準作り際にはエコマークの基準を参考にしているそうです。

(ホームページ：<http://www.enviro-choice.org.nz/>)



スターウォッチング ネットワーク

シンボルマークとイメージキャラクターが決定しました!



シンボルマーク

イメージキャラクター

約400点の応募作品の中からシンボルマークとイメージキャラクターが決定しました!

これからポスターや観察資料等でみなさんの目に触れることが多くなりますが、どうぞよろしくお祈りします!

*シンボルマーク及びイメージキャラクター最優秀作品
いずれも杜多利香さん(兵庫県神戸市)

第16回「星空の街・あおぞらの街」全国大会が開催されます

- 【日時】2004年8月21日(土)、22日(日) 【場所】京都府京丹後市
- 【主催】環境省・京都府・京丹後市・「星空の街・あおぞらの街」全国協議会
- 【問合せ先】京丹後市環境推進課(TEL:0772-69-0230)
- ◆シンボルマークとイメージキャラクターの入賞者を表彰する予定です。

環境白書表紙絵コンクール

環境省と当協会の主催で、昨年8月～今年1月末まで、「平成16年版環境白書」の表紙をかざる絵を募集しました。「小・中学生の部」1,681点、「一般(高校生以上)の部」298点と多くの力作が寄せられました。

選考の結果、最優秀賞〈環境大臣賞〉は、現・小学3年鈴木紳さんと、現・高校3年の岡本梢さん、現・高校2年大西千亜希さんの3名が受賞しました。優秀賞〈日本環境協会理事長賞〉は、現・小学6年の浦野志郎さんと、専門学校生の遠藤智行さんが受賞しました。



鈴木紳さん
(小中学生の部・子ども白書表紙)



岡本梢さん
(一般の部・白書表紙)



大西千亜希さん
(一般の部・ポスター)

受賞者には、3月29日(月)に環境省で行われた表彰式で、小池百合子環境大臣と加藤陸美理事長から表彰状が授与されました。

受賞5点は、平成16年版環境白書の表紙やエコライフ・フェア2004のポスター等に使用されました。

環境研究会

見学会を開催しました

当協会「環境研究会」会員を対象としたバスツアー(見学会)を4月23日(金)に開催しました。今回は神奈川県横須賀市の「横須賀市リサイクルプラザAicle(アイクル)」と同バイオガス化実証試験プラント、横浜市の「みなとみらい21熱供給株式会社」を見学しました。

「リサイクルプラザAicle」は、横須賀市内の缶・びん・ペットボトル、プラスチック、紙等の容器包装を回収し、毎日220トン処理する能力を備えています。この施設の稼働後、ごみの埋立量は77%減少したということです。

隣に位置するバイオガス化実証試験プラントでは、家庭からでる可燃ごみに含まれる生ごみからバイオガ

スを取り出して、ごみ収集車の燃料とする技術について、平成22年の実用化を目指して研究が行われていました。

「みなとみらい21熱供給株式会社」は、ランドマークタワーのすぐ側にあり、みなとみらい地域の都市システムの中の地域冷暖房を担っています。近未来的な都市景観に溶け込んだ建物の中に、MM21中央地区全域の冷暖房をまかなえるほどのプラントが隠されていることに驚かされました。





こどもエコクラブ

こどもエコクラブは10年目を迎えました

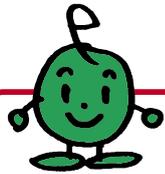
「こどもエコクラブ」は、小・中学生なら誰でも参加できる環境活動のクラブです。環境省が平成7年度から推進している事業で、今年度、10年目を迎えました。

初年度、約28,000人であった会員は平成15年度には約82,300人となり、事業開始以来で、のべ約57万人の子どもたちがこどもエコクラブ会員として活動しました。ここ数年は、活動を支える大人の方（サポーター）の登録も増え（約1万人）、クラブの活動をボランティアで応援する「こどもエコクラブ応援団」も組織されました。また、こどもエコクラブの登録のある自治体の数も初年度約600自治体から、平成15年度は約900自治体へと増加しています。

子どもたちに継続的な環境活動・環境学習の機会を提供し支援する本事業は地方自治体と連携し、また企業・団体のご支援を得ながら、着実に地域での活動の広がりをみせています。



平成11年には国連環境計画（UNEP）より、その実践活動が評価され、GLOBAL500賞（青少年部門）を受賞しました



活動紹介 No.2

～全国で楽しく活動しているクラブを紹介します～

竹の子エコクラブ（埼玉県三芳町）

地域といっしょに

竹間沢小学校にビオトープを創った子どもたちを地域で支援していきたいと、三芳町立竹間沢公民館の呼びかけで、「竹の子エコクラブ」が結成されました。

ビオトープの観察や、プール開き前のヤゴ救出、さつま芋づくり、川の生き物調べ、落ち葉掃きや冬鳥観察など、小学校や地域の方々の協力をいただきながら活動をしています。“自然っておもしろく遊べるんだ”“この地域にはこんなおもしろいところがたくさんある”と、子どもたちばかりでなく大人も気づきました。こどもエコクラブを通じて地域のネットワークが広がっています。



こども環境相談室

ようこそ！ 日本環境協会へ ～増える訪問相談

こども環境相談室では、訪問、電話、手紙、電子メール、FAXによる子どもたちからの環境に関する相談を受け付けていますが、ここ2年ほどで、訪問相談が急増しています。開設以来で約3000人の子どもたちが訪れています。主に、春は東北、北陸、中部地方からの修学旅行生、秋冬は関東からの生徒が中心です。

相談室ではあらかじめ出された質問に、ボランティア相談員の環境カウンセラーが対応しています。この写真は5月10日（月）に、訪問した盛岡市立北稜中学校の生徒たちで、相談員と地球温暖化の影響によって水没の危機にある国や地域を探し、私



たちの生活とのつながりを考えているところです。

自分たちでやろうと思わなければライフスタイルは変わりません。気づき、自分で考え、行動に移せるようになること、そのきっかけを与えたいと、相談員たちはいつも思いを巡らせ、事前準備を大切にしています。帰り際の子どもたちの笑顔に接することができたときの喜びはひとしおのことです。

本年4月に協会は東京タワーの近くに移転し、相談対応スペースも大幅に拡大しました。小、中、高校生の皆さん、これまで以上に相談をお寄せください。お待ちしております！

7月上旬に「平成16年度環境カウンセラー募集要綱」が出来上がる予定です。募集要綱の入手方法については、ホームページをご覧ください。環境カウンセラー担当までお問い合わせください。

なお、本年4月に、新たに397名の登録者が加わり、現在3,611名（事業者部門2,163名、市民部門1,448名）が環境カウンセラーとして登録しています。

活動紹介

No.6

【市民部門 新潟県 橋 由紀夫さん】 サッカー場で4万人のゴミゼロ作戦

昨年、県の「イベントゴミを減らそう」企画委員となり、9月からいろんなボランティアグループと一緒に、Jリーグ最大の観客動員数を誇る「アルビレックス新潟」のスタジアム“ビッグスワン”で、「4万人ゴミゼロ作戦」を行っています。ゴミの分別場所を設置したり、来場者への分別・持ち帰りを呼び掛けたりと、「日本一、きれい・快適・安全なスタジアム」を目指して活動しています。ピーク時には6トン以上となったゴミが、現在では2.5トンに減り、徐々にゴミへの意識が浸透してきているようです。



分別袋
燃えるゴミ、燃えないゴミ、ペットボトルの分別用袋を設置している



紙コップの積み重ね
ゴミ袋の数を減らす
ゴミへの意識を高める



地球環境

パートナーシッププラザ

地方環境パートナーシッププラザの立ち上げを支援します

平成16年度環境省の「地方環境パートナーシッププラザ整備事業」が始まります。3カ年をかけて全国9カ所に環境パートナーシップ促進を目的とする拠点を整備するもので、今年度は5千万円の予算が認められました。

「パートナーシップ」という言葉が急速に社会全体に浸透し、行政と他セクターが協調・連携するための制度が増えている一方、言葉や制度がパートナーシップの理念に追いついていないことや、パートナーシップを促進するための知識や技能を持つ人材が足りないこと、あるいは人材が活動する拠点が不十分であるなどの問題が指摘されています。こうした背景のもと、全国拠点である地球環境パートナーシッププラザと、各地域の拠点の中間に位置する広域型拠点として「地

方環境パートナーシッププラザ」が構想されました。パートナーシップの促進を目的とする拠点の運営はパートナーシップで行われなければなりません。主体性を持った人材が、セクターを越えて協働する必要があります。

地球環境パートナーシッププラザは設立以来7年間かけてパートナーシップに関わるアクターの自発性に基づく、連携・協調を促進するための基本的な考え方やノウハウを蓄積してきました。

地球環境パートナーシッププラザにとって、人材育成、情報の収集と発信、NPO支援などの考え方や手法を各拠点に伝え、地域の実情に応じて各拠点で展開できるように支援することが今後3年間の重点事業となります。



グリーン購入ネットワーク

「GPNデータベース」がリニューアルオープン

16分野・1万商品を超える環境配慮型商品を掲載し、企業や行政などにグリーン購入の参考情報として活用いただいている「グリーン購入のためのGPNデータベース」が、商品の検索・抽出機能を大幅に拡充して6月30日（水）にリニューアルオープンしました。グリーンな商品選びにぜひご活用ください。

GPNデータベースならこんなことができます

1. 用途・目的に合わせたオリジナルリストが作れます。
たとえば、エコマーク商品のためのリスト → “エコマーク” をキーワードにフリーワード検索
2. 比較したい複数の商品を指定し、一覧できる簡易比較表 → 比較したい商品を指定し絞り込む
3. 検索・抽出した結果をPDFファイルで出力、印刷も可能

藤本倫子環境保全活動助成基金

平成16年度第3回助成団体を募集しています

藤本倫子基金とは環境カウンセラーの藤本倫子氏からの寄付金によって平成14年に設立された基金で、環境教育や環境保全活動を積極的・継続的に実施している団体や個人の活動資金の一部を助成しています。

現在、平成16年度第3回目の募集（6月1日（火）～8月31日（火））を行っています。助成対象は、平成16年10月以降の活動で交付決定後に活動を開始する事業です。募集要項はホームページ、または担当までお問い合わせください。今年度第1回助成交付団体（3団体）やその活動内容等も掲載していますので、併せてご覧ください。

平成16年第1回の助成交付団体は以下の通りです。

団体名	活動地域	活動名
寝屋川エコライフ	大阪府寝屋川市	エコクッキング教室およびたい肥作り教室
特定非営利活動法人環境創造舎	福岡県福岡市	多面的な機能発揮に向けた里山保全ボランティア活動
彦名地区環境をよくする会	鳥取県米子市	「なかうみ」環境新聞『中海』発行200号記念誌（水質浄化副読本）



全国地球温暖化防止活動推進センター(JCCCA)

埼玉県で「青い地球の物語」を補助教材に

前号で紹介した全国地球温暖化防止活動推進センター発行の冊子「青い地球の物語」は、「写真がとてもきれい！」「地球温暖化問題を理解しやすい！」と好評です。この度、この冊子を中学校の総合学習の補助教材として使用し、地球温暖化を学んでもらう環境学習事業を埼玉県と共同で実施することになりました。

埼玉県の教育委員会を通じて本冊子を県下の全中学校に配布して授業に活用してもらうとともに、8月には埼玉県主催の先生向けの環境学習の研修会に参加し、中学生が“地球温暖化”という漠然とした問題に“自分で考え、行動を起こす”きっかけを掴むことが

できるような手法を提示することとしています。さらに、本冊子を使用した授業を見学したり、先生や生徒との座談などを通じて、中学校の授業や地球温暖化防止活動推進員の活動などで役立ててもらえるような実践事例集の作成につなげたいと考えています。

※『青い地球の物語』をご希望の方には送料負担で送付しています。全国地球温暖化防止活動推進センター担当までお問合せください。但し数に限りがあります。



土壌汚染対策基金

支援事業と基金への出えん方法

土壌汚染対策基金は、土壌汚染対策法（以下「法」という。）に基づき実施される土壌汚染対策を円滑に推進するため、法に基づき環境大臣が指定した指定支援法人（当協会）が支援事業を行うために設置されたものです。本基金による支援事業の内容及び基金への出えん方法は次のとおりです。

土壌汚染対策基金による支援事業

1. 住宅・マンション等で土壌汚染が発見され、汚染原因者が不明等であり、汚染の除去等の措置を講ずる土地所有者等の負担能力が低い場合に助成を行う都道府県等に対する助成
2. 土壌汚染の環境リスクについてのリスクコミュニケーションの一環としての普及啓発及び事業者研修等。

なお、1.の事業を実施する際の助成基準等を定めた

「土壌環境保全対策推進助成金交付事業実施要領」を都道府県及び法で定める政令市に通知していますので、助成を希望される方は都道府県等の担当部局にお問い合わせください。

土壌汚染対策基金への出えん方法

基金は、国からの補助金と産業界等からの出えん金により造成されています。基金への出えん方法には4つあり、うち3つについては、土壌汚染の調査又は修復事業に関わる方から「搬出汚染土壌管理票の購入時（1枚700円）」、「土壌環境修復事業の発注を受けた企業（請負額の0.1%の額）」及び「調査を請負った法に基づく指定調査機関（請負額の0.3%の額）」の方法により出えんいただくこととされています。このほか、基金の支援事業の趣旨に賛同していただける方々からの寄附を募っています。詳しくはホームページを。

ホームページをリニューアルしました!

HPトップ画像

(子ども環境相談室)
環境に関する子どもからの相談を受付けます

(子どもエコクラブ)
全国の子どもの活動がわかります

(スターウォッチング・ネットワーク)
星空観察の参加方法がわかります

(藤本基金)
助成申請方法や交付先団体がわかります

(環境カウンセラー)
環境カウンセラー登録者の検索ができます

(全国地球温暖化防止活動推進センター)
子どものページや取組方法も載っています

(土壌汚染対策法に基づく指定支援法人)
土壌汚染対策法や基金について載っています

(地球環境パートナーシッププラザ)
環境パートナーシップを知る・作る・育てます

(環境資料・教材の作成頒布)
オンラインでも申し込みます

(環境教育映像の貸出・頒布)
無料で借りられます

(エコマーク)
申請方法や商品情報がわかります

(世界エコラベリングネットワーク)
世界のエコラベルの情報がわかります

(グリーン購入ネットワーク)
グリーン購入のための情報が充実しています

(JEA NEWS)
JEA NEWSがweb上からもご覧になれます

ホームページアドレスは <http://www.jeas.or.jp>

協会オフィスは4月に移転しました



(財)日本環境協会 麻布台オフィス

〒106-0041 東京都港区麻布台 1-11-9
プライム神谷町ビル2F

代表(子どもエコクラブ事業などを含む)

TEL : 03-5114-1251
FAX : 03-5114-1250

エコマーク事務局

認証課 TEL : 03-5114-1253
FAX : 03-5114-1257

基準課・普及課・国際協力課

TEL : 03-5114-1255
FAX : 03-5114-1257

全国地球温暖化防止活動推進センター (JCCCA)

TEL : 03-5114-1281
FAX : 03-5114-1283

子ども環境相談室

TEL : 03-5114-1258
FAX : 03-5114-1250

■青山オフィス内の地球環境パートナーシッププラザ、グリーン購入ネットワーク事務局は移転していません。

編集・発行/財団法人日本環境協会 URL: <http://www.jeas.or.jp> e-mail: jea@japan.email.ne.jp

麻布台オフィス 〒106-0041 東京都港区麻布台 1-11-9 プライム神谷町ビル2F

(協会)	TEL.03-5114-1251	FAX.03-5114-1250
(エコマーク事務局 認証課)	TEL.03-5114-1253	FAX.03-5114-1257
(エコマーク事務局 基準課、普及課、国際協力課)	TEL.03-5114-1255	FAX.03-5114-1257
(全国地球温暖化防止活動推進センター (JCCCA))	TEL.03-5114-1281	FAX.03-5114-1283
(子ども環境相談室)	TEL.03-5114-1258	FAX.03-5114-1250

青山オフィス 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-67 コスモス青山B2F

(GPN)	TEL.03-3406-5155	FAX.03-3406-5190
地球環境パートナーシッププラザ(GEIC)	〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-70 国連大学ビル1F	TEL.03-3407-8107 FAX.03-3407-8164

